

CV絆

連結ヒンジ型河川護岸用張りブロック



CV絆の特長

水中施工が可能

- 河川工事につきものであった締め切り及び水替え工を必要とせず、水中での施工ができるため、全体的な工期及び工費の縮減が可能となります。

連結金具が不要のかみ合わせ構造

- 連結部のヒンジ構造は、ブロック本体に設けた凹凸部をかみ合わせる構造なので連結金具を必要としません。

強固でかつ柔軟な構造

- 連結部はヒンジ構造としているため、そのかみ合わせ構造により強固な構造となります。又、ヒンジ構造は自由に動く構造でもありますので、不陸に対し柔軟に対応できます。

カーブ施工も可能

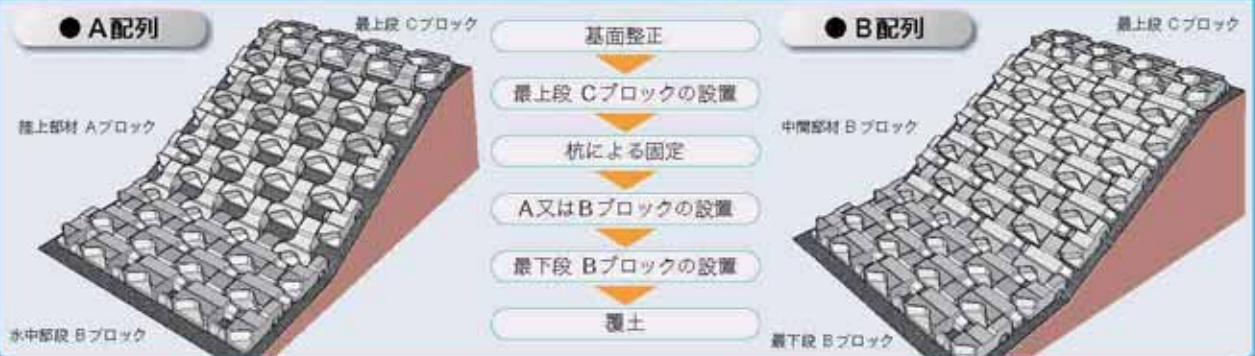
- 連結部のヒンジ構造により、カーブ施工も可能です。
- 法長方向の製品設置距離の約7倍以上の半径で設置できます。

環境への配慮

- 大きな空隙部をつくることのできるA配列は、植生が繁茂しやすく多様な河川環境を創ることが可能です。又、空隙部を小さくすることにより維持管理がしやすいB配列での施工も可能となり、河川の状況に適した環境創りができます。

施工方法

施工方法: 上から施工の場合(下から施工することも可能)



A配列



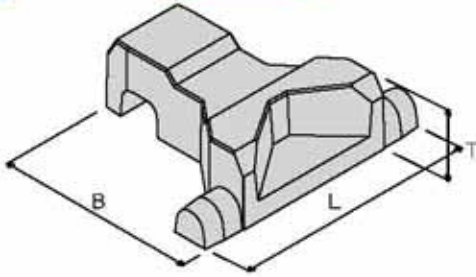
B配列



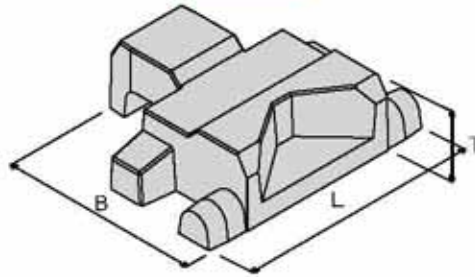
中詰め状況

単体図

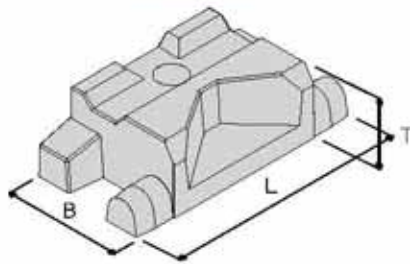
Aブロック



Bブロック

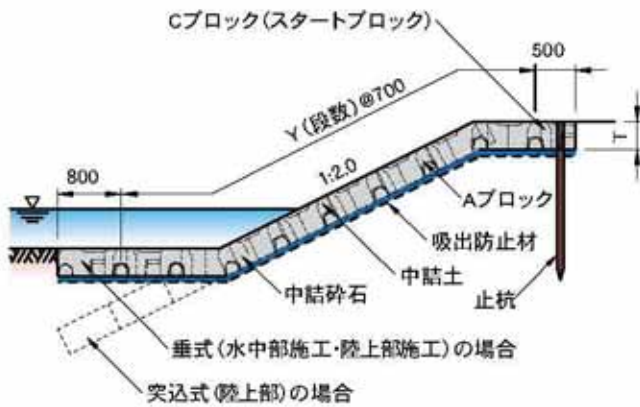


Cブロック

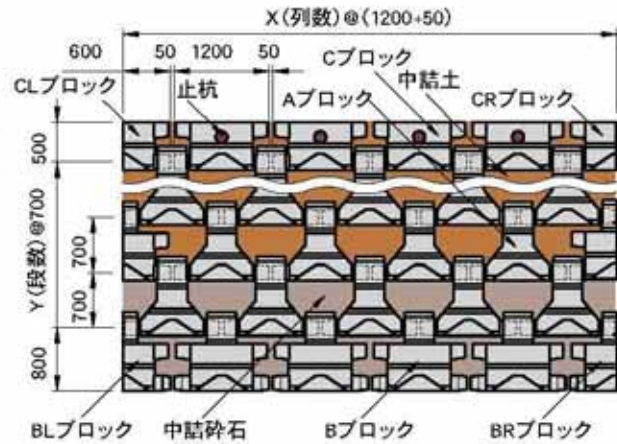


●端部用1/2ブロックもご用意しています。

標準断面図



参考展開図



呼び名	参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm) L × B × T	中詰量 (m ³)	1m ² 当り			
					使用個数(個)	参考質量(kg)		
陸上施工	350T	Aブロック	317		1200 × 1000 × 350	0.116	1.14	361
		Bブロック	414		1200 × 1000 × 350	0.071		
		Cブロック	328		1200 × 600 × 350	0.012		
	250T	Aブロック	233		1200 × 1000 × 250	0.084	1.14	266
		Bブロック	311		1200 × 1000 × 250	0.048		
		Cブロック	256		1200 × 600 × 250	0.006		
水中施工 (吸出防止材付)	350T	Aブロック	317		1200 × 1000 × 350	0.116	1.14	361
		Bブロック	414		1200 × 1000 × 350	0.071		
	250T	Aブロック	233		1200 × 1000 × 250	0.084	1.14	266
		Bブロック	311		1200 × 1000 × 250	0.048		

※㎡当りの数量はAブロックをメインに施工する、植生タイプの数量です。

CV絆



施工中



完成後



施工中



完成後

曲線施工について

曲線施工の場合、製品同士に隙間をもたせて施工することで対応します。この時、連結ヒンジ部の凹部と凸部の重なりは、100mm以上重なるように施工して下さい。

内R、外Rそれぞれの場合の最少施工半径は、右記表のとおりです。

設置段数	法長方向 製品距離(m)	内R 最小施工半径(m)	外R 最小施工半径(m)
5段	3.4	R 20	R 15
10段	6.9	R 45	R 40
15段	10.4	R 70	R 65
20段	13.9	R 90	R 85
25段	17.4	R 115	R 110
30段	20.9	R 140	R 135

参考歩掛表

陸上部施工

10㎡当り

CV絆 (個)	土木一般世話役 (人)	ブロック工 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン25t (日)
11.40	0.10	0.20	0.10	0.20	0.10

水中部施工

10㎡当り

CV絆 (個)	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	潜水士 (人)	潜水送気員 (人)	潜水連絡員 (人)	ラフテレーンクレーン25t (日)	諸雑費 (%)
11.40	0.23	0.23	0.46	0.23	0.23	0.23	0.23	0.10